

議会だより



6月の
定例会

② こんなことが決まりました
4月臨時会・6月定例会

⑦ ズバリ!! 町政を問う
平山勉議員一般質問

⑩ 常任委員会報告
総務文教・産業厚生

⑭ 全員協議会報告
町の重点事業について徹底議論!!



富岡町議会の
ホームページはこちら

絶景ブランコ(富岡漁港西側の公園)

TOMIOKA GIKAI DAYORI

発行：福島県富岡町議会 住所：〒979-1192 富岡町大字本岡字王塚 622-1
TEL:0240-22-2111 FAX:0240-22-0899



定例会審議議案一覧

令和7年6月17日

令和7年第3回定例会で審議した議案とその結果

審 議 議 案 ・ 概 要		結 果
◆報告		
報告第2号	令和6年度富岡町繰越明許費繰越しの報告について (一般会計)	報告のみ
報告第3号	令和6年度富岡町繰越明許費繰越しの報告について (公共下水道事業特別会計)	報告のみ
報告第4号	専決処分の報告について (福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村 総合事務組合規約の一部変更について)	報告のみ
◆条例の一部改正		
議案第36号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を 改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第37号	富岡町議会議員及び富岡町長の選挙における選挙運動の公費負担に関す る条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第38号	富岡町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
◆工事請負契約		
議案第39号	工事請負契約について (富岡町文化交流センター高圧受電設備改修工事)	賛成多数 原案可決 賛成7、反対2
◆動産の取得		
議案第40号	動産の取得について (小型動力ポンプ積載車)	全会一致 原案可決
◆補正予算		
議案第41号	令和7年度富岡町一般会計補正予算(第1号)	全会一致 原案可決

※第3回定例会における「工事請負契約」「動産の取得」「一般会計補正予算」はP4～6に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、表紙のQRコードによりご参照ください。



臨時会審議議案一覧

令和7年4月22日

令和7年第2回臨時会で審議した議案とその結果

審 議 議 案 ・ 概 要		結 果
◆報告		
報告第1号	専決処分の報告について (甚吾沢ため池放射性物質対策工事に係る工事請負契約の金額を変更)	報告のみ
◆専決処分の報告及び承認		
議案第34号	専決処分の報告及びその承認について (富岡町税条例の一部を改正する条例)	全会一致 原案可決
◆工事請負契約		
議案第35号	工事請負契約について (公共下水道処理区統合接続管整備工事その2)	全会一致 原案可決

公共下水道処理区統合接続管整備工事その2

農業集落排水(上手岡地区)を公共下水道富岡処理区へ統合するためJR常磐線を横断する接続管の整備工事について可決しました。

(4月臨時会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 工 期 令和8年3月19日
- 金 額 8,470万円
- 契約相手方 福島県福島市早稲町6番3号
東鉄工業株式会社 福島営業所



こんなことが
決まりました

工事請負契約

【都市整備課長】
工事後、時間が経ってから井戸の水位や水質に影響がでることへの懸念について、まずは工事完了の半年後に水位および水質等の調査を行う予定です。

【工事請負契約】
JR常磐線の地下を横断して接続管を整備する工事だが、完成後に数年経ってから周辺の井戸へ影響が出ることはないか。(高橋実)

【産業振興課長】
1キログラムあたり1万2,333ベクレルから最大3万4,756ベクレルが検出されたため、その部分を除去するため撤去の工事をしました。

【報告(ため池放射性物質対策工事)】
掘削により8,000ベクレルを下回らない箇所が確認されたとのことだが、実際の数値は。(安藤正純)

議員が切り込む!!
質疑応答



小型動力ポンプ積載車購入

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故により使用不可となり廃棄した町消防団第2分団の消防車両について、管轄エリア内の消防体制を確保するための車両購入について可決しました。

(6月定例会) 全会一致 原案可決

【概要】

- 取得予定価格 2,046万円
- 契約相手方 福島県いわき市内郷綴町金谷15番地4
東部産業株式会社自動車部
- 購入物内訳 小型動力ポンプ積載車 1台



電動油圧昇降機



オールシャッター型の後部形状



動
産
の
取
得

富岡町文化交流センター高圧受電設備改修工事

平成16年に竣工した富岡町文化交流センターに設置している高圧受電設備の老朽化に伴い、安全で安定的な電力を確保するための工事について可決しました。

(6月定例会) 賛成多数(賛成7・反対2) 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 工 期 令和8年1月31日
- 金 額 9,598万6千円
- 契約相手方 福島県双葉郡富岡町大字本岡字関ノ前74番地の2
ワタナベ電建株式会社
- 更 新 設 備 気中開閉器、変圧器、高圧ケーブル、受電盤 など



①気中開閉器



②変圧器



③高圧ケーブル

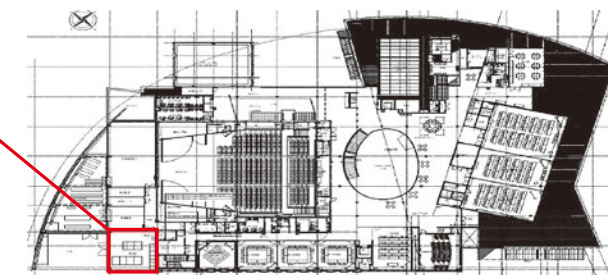


④受電盤

①～④の画像はイメージです



文化交流センター電気室



工
事
請
負
契
約

こんなことが
決まりました



議員が切り込む!!
質
疑
応
答

【定例会(動産の取得)】

問 今回納入の小型動力ポンプ積載車について、以前は後部のシャッターがなく乗車定員も多かったように思う。火災時の機能性を重視すべきでは。(渡辺三男)

答 生活環境課長

今後車両の更新計画があるので、ご意見を踏まえ消防団と協議をします。

問 入札状況を見ると、以前納入実績のあったメーカーが入っていないが、故障の際などの修理やメンテナンスはどうするのか。(高橋実)

答 生活環境課長

入札への参加事業者については、納入車両の種類により異なります。なお、メンテナンス等につきましてはそれぞれ落札をした事業者において実施しています。

議員が切り込む!!
質
疑
応
答

【定例会(工事請負契約)】

問 財源について、汎用性の高い廃炉交付金ではなく、他にも補助金のメニューがあったのでは。(渡辺三男)

答 生涯学習課長

補助金について、社会教育施設に関する国交省所管の支援策をまず検討しましたが、社会資本整備総合交付金は既存施設の維持経費への補助のため改修等には該当がなく断念しました。

また、学びの森が避難所の機能を有しているため同じく社会資本整備総合交付金における避難所用の補助メニューについても検討しましたが今回の工事に該当する補助金がなかったため、最終的に廃炉交付金を充当することに決定しました。

ズバリ!! 町政を問う



議員が質問

6月定例会の一般質問に平山勉議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質疑応答の要点をお知らせします。



ひら やま つとむ
1 平山 勉 議員 8



- 震災伝承の取り組みの現状と今後は
- 町の歴史、文化を現地にどう残すか



やまもと いく お
山本 育男 町長

たけうち まさ ゆき
武内 雅之 教育長

動画配信中!



※QRコードを読み取ると一般質問動画が見られます。



※山本町長の一般町政報告はこちらから

一般会計 補正予算

追加給付経費等による増額 《5,942万円を増額補正》

定額減税に係る不足額の追加給付経費の他、人件費等により5,942万円の増額補正を行い、総額121億4,730万円となりました。補正のあった事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
町勢振興基金積立金	1,698万円増
定額減税不足額給付事業費(給付金 他)	3,433万円増
その他	811万円増

表彰

自治功労者表彰

令和7年6月5日に福島県町村議会議長会の定期総会が開催され、その席上で福島県町村議会議長会の表彰規定に基づく町村議会議員として11年以上在職の自治功労者表彰を堀本典明議員が受賞しました。

平成25年7月から町議会議員を務め、議員活動を通して地方自治の振興発展と住民福祉の向上に寄与された功績に対して贈られたものです。

令和7年第3回定例会において、賞状の伝達が行われました。



当特別委員会では、震災前より原子力発電所からの通報連絡についての報告や、原子力発電所に関する安全対策等についての説明を受け、質疑応答を行っています。

原子力等 特別委員会

【視察において意見を聞く場面はあるか】



宇佐神幸一議員

東京電力福島第一原子力発電所への視察者数は。また、視察後に意見を聞く等しているか。

昨年度は約2万人の方に視察していただきました。実際に発電所を見ていただいた方の率直なご意見は非常に貴重であると考えており、視察後に座談会でご意見を伺う取り組み等を行っています。



東京電力HD(株)

【第二原子力発電所の廃止措置計画について】

福島第二原子力発電所の廃止措置計画において、廃炉実施予定期間が44年となっている。福島第一原子力発電所のように建屋解体の難易度が高かったり、燃料デブリがある状況でもないと思うが、内容は。

福島第二原子力発電所は損傷のない設備の廃炉であることから、作業従事者への被ばく線量を可能な限り低く抑えることが重要です。現在の技術では「放射線の量が減衰する期間を設けること」が確実に廃炉を進める方法と考えています。



東京電力HD(株)

約40年後に第二原子力発電所の廃炉が終わった後、元の富岡町の賑わいやマイナスである経済がプラスになるような取り組み、支援の考えはあるのか。廃炉が終わったらそれで終わりだと思っているのか。

廃炉に係る地元企業への発注等での貢献や、今後廃炉の先進地域として全国の廃炉事業へ参画することなどを通じて長期にわたり地域の復興に役立てる部分があると考えています。



安藤正純議員

【第二原子力発電所の廃炉と並行した事業の考えは】



高橋実議員

廃炉完了までの間に、原子力に代わる水素やバイオ等のエネルギーでハウス野菜を作る等で富岡町や檜葉町に貢献するような考えはあるか。

地域の復興に対して東京電力として今後何をやるのか、やるべきなのかということについては、大きな課題のひとつと認識していますので、社内でもしっかり検討していきたいと考えています。



東京電力HD(株)

問 震災伝承の取り組みの現状と今後は

答 伝承の場所等の調査や活用方法を検討



平山 勉 議員

問 富岡町は町内現地に於いて慰霊碑以外に震災の伝承、教訓、防災に関する場所、説明が乏しく見える。現状をどう考え、今後どう伝えていくか。

答 教育長
震災、原子力災害に関する伝承は、今を生きる世代全員の責務です。町内現地で伝えることは教育旅行をはじめとした学びに資する重要な指摘と捉えており、アーカイブ・ミュージアムを伝承の拠点としながら、防災や観光等を所管する関係各課とともに、町内各地に残されている伝承に値する場所等の調査や、活用方法の検討を進めて参ります。



設置されている避難誘導の看板

問 津波の教訓を残し防災意識を高める取り組みについて、町がつけた標識は、残念ながらこの高さまで津波が来たという表示が不十分であると考え。津波高、浸水高、遡上高等の、ここまで津波が来たという表示を提案する。場所は富岡駅前や観陽亭跡地など、象徴的な場所にしてはどうか。

答 生涯学習課長
各自自治体の事例なども勉強させていただいて、関係各課と調整をし、検討をしていきたいと思ひます。

問 震災時に被災パトカーが打ち上がった場所も、防災林の範囲から外れて荒れ果てている。とても意味のある場所と考えるので、復興記念公園のようなものを整備してはどうか。

答 生涯学習課長
関係者との協議の上、先ほどの看板の設置場所などとともに総合的に判断して、慎重に検討していきます。

答 産業振興課長
富岡駅跡地はJRの土地であり、看板設置や整備するにあたってはJRとの協議が必要となります。

問 町の歴史、文化を現地にどう残すか

答 地域資源の活用を関係各課と連携しながら進める

問 町内において大原本店旧店舗以外に、町の歴史を伝える場所が希薄なため、歴史、文化を残し伝え、知ってもらうという意識が乏しいように思える。文化財などを周知する看板等は震災前から変わらず、劣化しているの盛り返りでリニューアルをしてはどうか。

答 生涯学習課長
改めて町内の看板を確認したところ、かなり古いもの、文字が見えないようなものもあり、震災後の内容が入っていない看板がほとんどです。改めて内容を確認して、震災後の取り組み等も伝えられるよう考えていきます。

問 文化財などを周知する看板は双葉郡役所の跡等の歴史的な場所のみならず、町民が紡いできたもの、例えば岩井戸温泉跡や中央商店街等、更に閉校した学校等についても伝え残していくべきと考えるが。

答 生涯学習課長
アーカイブ・ミュージアムの展示の中である程度見られる状態になっていますが、現地での説明がない状況です。それぞれの場所について土地の所有者の方もありますので、それぞれ調整をしたいと思います。

総務文教常任委員会

※常任委員会とは① 本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

総務文教常任委員会が調査した
主な事業についての
質疑応答を報告します。

【所管課】
○総務課
○企画課
○税務課
○出納室
○住民課
○教育総務課
○生涯学習課
○議会事務局



＜ 移住定住促進に係る事業の精査を ＞

Q とみおかくらし情報館の事業について、直接来館される方や電話での相談者数に比べてオンライン相談会やweb等での人数が少ない。
お試し住宅の利用者数も少ないように感じられるが、事業効果の見極めが必要では。

A web等については昨年度、オンライン相談会は今年度からの事業であるため、事業効果については今後も注視します。なお、住民課と協力して行った移住者へのアンケートにおいて約9割の方がホームページやSNS、web関係を参考としていると回答がありましたので、力を入れていくべきと考えています。

事業開始から4年目となるお試し住宅について、まず富岡町を何かのきっかけで知っていただき、とみおかくらし情報館において移住の専門員との話を経て、お試し住宅に泊まった際にゆっくりと町内を案内するという流れで行っています。一度のお試し住宅宿泊で移住を決める方は少数であると認識しており、効果の検証は行いながら今年度も続けていきたいと考えています。



とみおかくらし情報館(左)とお試し住宅(右)

【企画課】

＜ 与党提言に対する町の要望は ＞

Q 新聞報道において、自民党加速化本部からの「東日本大震災 復興加速化のための第14次提言」の中で帰還困難区域のバリケード撤廃により立ち入りを緩和する案が報道されたが、帰還困難区域を抱える町村の協議会による要望活動の際にそのような話があったのか。

A 要望活動に行った時点では第14次提言の話は出ておらず、事前の説明なく新聞報道により初めて情報を得ました。
立ち入りの緩和により面的除染をしない不安につながることはないよう、除染なしに解除はしないことを基本スタンスとして、しっかりと国との協議を行います。

【企画課】

＜ 町内の居住者について ＞

Q 町内居住届出件数が4月末時点で約2,600人だが、もともとの町民の方と移住して来られた方の人数の割合は。

A もともとの町民の方が約4割、移住して来られた方が約6割となっています。

【住民課】

＜ 小・中学校、こども園の熱中症対策は ＞

Q 今年の夏も暑くなる予報だが、子どもたちの夏の熱中症対策は。

A 小・中学校およびこども園では、各自持参の水筒で適宜水分補給をしています。なお、こども園においては職員がタイミングを見計らって補給を促しています。
熱中症に対しての経口補水液も常備しています。
こども園において、熱中症の指数を測る機械が園庭にあるので参考にしながら活動しており、プール遊びや砂場遊びについてはテントを張ってその中で行っています。

【教育総務課】

＜ 町指定文化財の利活用状況について ＞

Q 町指定文化財である大原本店旧店舗について、町は見学者や利用者の把握をしているか。

A 町指定文化財となっている大原本店旧店舗の管理については、南双広域シルバー人材センターにお願いしています。現在、毎月の利用者は約10名程度であり、今後さらにご利用いただけるよう周知に努めます。

【開館時間】
平日 9時～17時
(最終入館時刻 16時30分)



大原本店旧店舗(富岡町中央)

【生涯学習課】

産業厚生常任委員会

※常任委員会とは② 全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

産業厚生常任委員会が調査した
主な事業についての
質疑応答を報告します。

【所管課】
○産業振興課
○都市整備課
○農業委員会
○生活環境課
○いわき支所
○郡山支所
○福祉課
○健康づくり課



＜ 防犯灯の改修について ＞

Q 今年度、蛍光灯タイプの防犯灯100灯をLED化する計画があるが、町内全ての改修ができるのか。

A 今年度計画しているのは、平成29年度に避難指示が解除されたエリアの蛍光灯タイプを一律で更新するものです。避難指示解除区域においてはそれぞれ解除前に不具合が確認された照明灯を復興庁の事業で一度改修しています。当時不具合が確認できずLED化できなかった照明灯について計画的に改修を進めていきます。



今回更新対象の照明（一部）
老朽化した独立柱（左）のタイプについては
撤去移設の対応も行う

【都市整備課】

＜ 除草作業後の対策を ＞

Q 除草作業で刈った草を路肩で乾燥させる際、排水路や集水桝などに入ってしまったまま詰まることがないように、特に田植えの時期なので町と事業者とでしっかり対策を講じてもらいたい。

A 事業者への説明会の際に指導をするとともに、パトロール等で現場を注視していきます。

【都市整備課】

＜ 草刈り機の貸し出し状況等について ＞

Q 草刈り機の貸し出し業務について、令和7年度に入ってから手押し式1件と充電式8件の実績があるが、貸し出し中で借りられないということはなかったか。また、台数を増やす予定は。

A 充電式草刈り機において、メンテナンス中で貸し出しができないことが一度ありました。台数につきましては、充電式を追加で1台購入する検討をしています。

【生活環境課】

＜ 町民の不安払拭を ＞

Q 放射線リスクコミュニケーション事業における職員による窓口相談に4～5月で33件の相談があったとのことだが、どのような相談内容か。

A 窓口には、移住された方よりも元々の町民が多く来庁され、時期的に山菜などの持ち込みもありました。山菜の放射能濃度や特定地域の放射線量への懸念などがあり、関係課と情報共有しながら対応しています。さらに、山菜の放射能濃度が高い場合でも、調理方法によって濃度を低減できることを説明しつつ、放射線リスクコミュニケーション活動を実施しています。



富岡町食品検査所（役場敷地内）

【健康づくり課】

＜ 大規模イベントに関する詳細について ＞

Q スイーツ甲子園ふくしまチャレンジカップについて、富岡町・大熊町・広野町・楢葉町の各町約2,200万円の予算が計上される大規模なイベントだが、詳細は。

A スイーツ甲子園は、全国の高校生が福島県産農作物を素材にスイーツを開発する大会です。大会を通じて風評の払拭および農産品の販売促進等につなげる取り組みであり、各自治体では復興予算を活用しています。今年は、決勝大会の模様をネット配信することに加え東京都内で活躍する著名シェフが審査・監修のもと、優勝校の生徒が富岡町産パッションフルーツを使用したお土産を開発し、来年2月に東京都内で行われるイベントで販売する予定です。



【産業振興課】

～学校訪問レポート～

にこにここども園 富岡小・中学校



令和7年7月9日に、総務文教常任委員会において学校訪問を実施しました。

○にこにここども園

園児数 0～5歳児
63名(令和7年7月1日時点)
一時保育利用者数
14名(令和7年6月末時点)
子育て支援センター利用者数
125組271名(令和7年6月末時点)



○富岡小・中学校

児童・生徒数 小学校 77名
中学校 22名
(令和7年5月1日時点)



意見交換



問 園児の給食について食料品等の値上げによる影響は大丈夫か。
(安藤正純)

答 園長
値上げによる給食の質が低下しないよう、事業者と協議しながら適宜対応しています。

問 給食への異物混入防止対策は。
(高野匠美)



職員から保育状況について説明

答 園長
異物混入を防ぐため、服装に細心の注意を払うだけでなく、調理作業の際は目立つ色の手袋を使用し、使用前で破れていないかの

問 子育て支援センターの利用促進を図るために情報発信の強化を。
(宇佐神幸一)

答 園長
子育て中のご家庭の方であればご家庭でも利用できること等、しっかりPRをします。

意見交換



問 タブレット学習のメリットは大きいですが、「書く」ことが疎かになる等のデメリットへの対策は。
(安藤正純)

答 学校長
タブレット学習だけではなく、国語の授業等でノート指導により書くことへの指導も行っています。

問 町内の塾や習いの教室の把握は。
(平山勉)

答 教育長
学習塾の再開は把握していますが、そろばんや習字、ピアノ、スイミングなどは近隣の市や町へ通っているのが現状です。なお、小学校では夏休みに水泳指導教室を行う予定です。

問 他校との交流がとれるような取り組みは。
(宇佐神幸一)



授業風景等、校内を見学

答 教育長
夏休み等に双葉郡内8校で学習の成果を発表したり、交流する機会があるだけでなく、生徒会連合の集まりで校則などについて話し合いや共有する機会があり、今後交流の充実を図ります。

全員協議会報告 町の重点事業について徹底議論!!

全員協議会では、議案の審査や議会の運営等に関して協議・調整を行っています。

◆除染・解体工事及び仮置場の状況、中間貯蔵施設への輸送計画並びに特定廃棄物埋立処分事業の状況等について(環境省・内閣府)

問 仮置場の土壌について、放射線量が低いものの取り扱い。(宇佐神幸一)

答 環境省
松の前の拠点外や赤坂1の仮置場に保管されているのは遮蔽土のような汚染されていない土壌ですので、富岡町内の客土材としての活用や、環境省事業で扱うため一時的に保管しています。

問 除染・解体が着々と進んでいる。すべて完了した際に完了の報告は町にするのか。
(宇佐神幸一)

答 環境省
現在は特定帰還居住区域の除染を進めている状況で、フォロアアップを含めて継続的に除染の対応をしているところです。できるだけ早く、町の皆さまも納得できる形で除染が完了したと言える状態になるよう全力で努め、完了の際はご報告します。

問 特定帰還居住区域の外縁除染について、対象者に対して同意の取得率が約34%とかなり低い。何か原因があるのか。
(安藤正純)

答 環境省
現在、特定帰還居住区域内の同意取得を優先的に行っており、外縁部への積極的なアプローチができていないことが原因であると考えます。外縁につきましても除染対象であることから、引き続きご同意いただけるよう連絡や訪問等において積極的なアプローチを進めていきます。

問 帰還困難区域を抱える町村への国からの支援については、各町村足並みをそろえた政策を。
(渡辺三男)

答 内閣府
対応については制度的に難しい部分もありますが、関係省庁との連携をとりつつ皆さまへの説明をしっかりと行い、状況に応じて検討を進めます。

◆富岡町太陽光発電設備の設置等に関するガイドラインについて(企画課)

問 ガイドライン策定の目的の中に「地域環境との調和を図り安全で安心な住環境を確保」とあるが、地域環境との調和を図るとはどのようなことか。
(渡辺三男)

答 企画課
第三次災害復興計画において町全体の土地利用構想があり町内各地区を区域分けしてありますので、事業者に対し、それぞれの部分に整合した形となるよう配慮を求めるものです。

問 良好な景観形成が求められるエリア内又は道路沿道に位置する場合は条例や計画等に基づき適切に対応することが求められるとあるので、例えば夜の森の桜並木周辺については条例によって規制することができるとは。
(平山勉)

答 企画課
まずは町の基本スタンスを早急に示すということでガイドラインでスタートさせていただきたいと思っています。

令和7年度活動状況報告

議員の派遣や委員会、定例会等の活動状況を報告いたします。
(広域圏・水道企業団等の議会や学校行事等を除く)

令和7年4月1日～7月16日(議会広報特別委員会最終日)

年月日	会 議 名 称	安藤 正純	辺見 珠美	平山 勉	佐藤 啓憲	渡辺 正道	高野 匠美	宇佐神 幸一	高橋 実	渡辺 三男	堀本 典明
R 7. 4. 8	議会広報特別委員会(第222号第3回目)		○	○	○		○				
R 7. 4.14	議会広報特別委員会(第222号第4回目)		○	○	○		○				◎
R 7. 4.16	総務文教常任委員会	○		○			○	○		○	◎
R 7. 4.17	産業厚生常任委員会		○		○	○			○		○
R 7. 4.22	令和7年第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 7. 6. 4	総務文教常任委員会	○		○			○	○		○	◎
R 7. 6. 5	産業厚生常任委員会		○		○	欠			○		○
R 7. 6.10	原子力発電所等に関する特別委員会	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	◎
R 7. 6.12	議会運営委員会	○			○	○	○	○			◎
R 7. 6.12	議会広報特別委員会(第223号第1回目)		○	○	○		○				◎
R 7. 6.12	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 7. 6.17	令和6年第3回定例会(第1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 7. 7. 1	町村議会広報研修会		○	○	○		○				
R 7. 7. 2	議会広報特別委員会(第223号第2回目)		○	○	○		○				◎
R 7. 7. 9	総務文教常任委員会(学校訪問)	○		○			○	○		○	◎
R 7. 7.10	議会広報特別委員会(第223号第3回目)		○	○	○		○				
R 7. 7.16	議会広報特別委員会(第223号第4回目)		○	○	○		○				◎

○：出席 □：委員会に所属しない議員 ◎：職務のための出席 欠：欠席

富岡町合併70周年 富岡町議会も70周年！

我が町の未来を支え、住民の暮らしや安全、地域の活性化に資する政策の実現に向け、これからも議会一丸となり取り組んでまいります！



令和7年6月8日(日)
富岡町合併70周年記念式典を挙行



元議員である
渡邊光夫氏、早川恒久氏、渡邊高一氏が
70周年記念表彰を受賞されました。
(代表で受け取る早川恒久氏)

【昭和44年から発行が始まった議会だより(当時は町議会報)も
本号で223号となりました。】



Q.震災後の富岡町の教育の現状について、どのように感じていますか。

A. 富岡町4つの小・中学校の閉校と三春校の閉所後に開校した富岡小・中学校も4年目がスタートしました。児童生徒数も増え、子どもたちは元気いっぱい楽しく学校生活を送っています。こども園・小・中学校の連携を密に、コミュニティの拠点となるような、そして、一人ひとりの夢を実現する学校をめざし、学校、地域、教育委員会が一体となって、子どもたち、そして学校を育てていきたいと思っています。

Q.今年度より教育長に就任されましたが、展望や課題などお考えをお聞かせください。

A. 「人づくりは町づくり」という思いのもと、学校教育では、4年目を迎えた小・中学校の教育活動をより充実させ、子どもたちの健やかな成長をめざし、こども園や地域との連携をさらに強化し、町を元気にする学校となるよう支えていきたいと考えています。また、生涯学習では、帰還した方々、避難先で生活している方々の思いを受け止め、町への思いがより膨らむような企画を工夫していきたいと考えています。

Q.今後、富岡町の学校教育・生涯学習に必要なのはどのようなことだと思いますか。

A. 未来を担う子どもたち、そして、町を支え、町を思う町民の方々は富岡町の大切な宝物です。子どもたち、そして町民の方々の笑顔がもっと増えるよう人との関わりや地域との関わりを大切にしながら、学校教育・生涯学習を進めていくことが重要であると思います。そのためには、学校への思いや町への思いをしっかりと受け止め、知恵を出し合いながら、工夫改善を加えていくことが必要です。私自身もこれまで以上に、地域に関わり、地域から学び、教育長としての職責を果たしていきたいと思っています。

ちっぴと みなさんの声



富岡町教育委員会
武内雅之(たけうちまさゆき)教育長
大熊町出身

【経歴】

- 昭和62年 文教大学卒業
- 昭和62年 桑折町立釧芳小学校
(県内各地の小・中学校に勤務)
- 令和2年 福島県教育庁事務職員
- 令和3年 富岡町立富岡第一小・中学校 校長
富岡町立富岡第二小・中学校 校長
富岡町立夜の森幼稚園 園長
- 令和4年 富岡町立富岡小・中学校 校長
(令和7年4月退職)

教頭先生になる前にも県内各地の小・中学校に勤務されていて

平成12年から第一小学校に2年間!

平成14年から第一中学校に3年間!!

平成17年からは第二小学校に9年間!!!

教員として38年間勤められた内、なんと19年間も富岡町の小・中学校で勤務されていたんだっぴ!



議会を傍聴しませんか?

- 9月定例会は、16日(火)～19日(金)の会期で開催する予定です。
 - 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
 - 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
- 議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



編集後記

今年も暑い日々が続きますが、皆様夏バテしていませんか? 私は暑いのが苦手なので、体調をくずさないように水分とミネラル補給に気を付けています。皆様も熱中症や夏バテにお気を付けください。さて、表紙は涼しげな海と、富岡漁港西側の公園に新設された絶景ブランコですが、写真映えスポットにもなっているので、新名所をぜひ晴れた日に訪れてみてはいかがでしょうか。

議会広報特別委員会では、親しみやすい議会を目指して、皆様により一層の興味関心を持っていただけるような広報を心がけてまいりますので、ご意見やご要望、感想などありましたらぜひお寄せください。

(辺見 珠美)

発行責任者

議長 堀本典明

議会広報特別委員会

委員長 佐藤啓憲

副委員長 辺見珠美

委員 平山 勉

委員 高野匠美